



1/28 善福寺公園 白梅咲く

1/28 石神井公園三宝寺池の北丘に紅梅咲く

## 果\_\_樹

早生ミカン(9月下旬)に続いて、柚子、スプリングアーレイ(10月～)。続いて、八朔、甘夏みかん、夏蜜柑。(2～4月)……。柑橘類で、半年は成りつづける。ポンタン=文旦、夏蜜柑が最後。文旦は、2月になると美味しい。果皮が赤くなるセミノールは、見掛けほど甘くはならない。美味しくない。

手狭の庭が柑橘で、ジャングル化。管理が大変である。このところ、一年を通して果物がなんとかいただけるようになってきている。

ジジャボチカバ、ミラクルフルーツ(熱帯小果樹)も、鉢植えで植えている。ジヤボチカバは、5～6ヶ月間、実り続ける。温室での越冬には、12℃。少なくとも越冬には7～8℃はほしい。厳寒期に芽先が少々(5mm程)伸びる程度で育てたい。でないと、寒さが原因で、年間2度ほど稔って、お終いになる。

ジヤボチカバで、端境期を埋めている。このところ東京は、温暖化が進んで、今や柑橘類の適地になっている。

栗、ヤマモモ、ビワ、柿1本は、幹を背の高さで切り詰めて、小さくした。幹先に小枝をつけて、枯れない程度で切った。トップジン軟膏を厚く塗る。

父には申し訳ないのですが普通の庭木を止めて、柑橘類中心の果樹にしている。早い判断でやめて、良かった。

「水」「光り」「養分」「風通し」「受粉樹」「適地か否か」「切り跡の処理」手に負えなくならないように早めの管理が必要です。切り詰め過ぎると2年間はダメ。さて……。植木屋さんの庭師には頼めない。

早生のミカンは、可愛い娘さんに一目ぼれ、「野田種苗」の花屋さんで買った何かと仕入れに行った。早生ミカン(宮川早生)だ。美人の二人姉妹。

4年の任期を終えて、大島から練馬区の大泉学園中へ。学園中では、花壇づくりに燃えた。色々の花苗を野田さんの店で、購入した。しかしながら、彼女らは早々、嫁に行く。振られてしまったヨ。

技術室から体育館の所の空き地(大泉学園中)。園芸部には加藤バラ園の息子が

いて、バラも植えました。 …、後に彼は高校の国語の先生になったと聞く。  
パンジー、デージー、久留米ツツジ、クロッカス…で、ワンダフルでした。

ウグイスカグラ、ビクリグミ、ビリベリイ(洋種桑の実)、枇杷、…、梅、スモモ、アンズ。 夏の畑ではスイカ、マクワウリ、甘ミニトマト、10月初めにミカン(宮川早生)。 これから柑橘類の実が採れ始まる。

桃、梨、林檎。 これらは、うまく作れなかった。 ブドウも難しい。

栗は、元気すぎて、それに場所を取るので切った。 栗は、井草高校の西の高橋農園で買えば良いので止めている。

「高橋農園」 井草高校の直ぐ近くにスーパー「オーケー」ができた。 OKーの仕入れは、産地処理。 「魚」「肉」は新鮮。 野菜は、高橋農園の無人スタンドで買う。 有機栽培なので、オイシイ。 関町南3丁目農園隣の「尾崎農園」のスタンドでも買っている。 有機栽培野菜のスタンドだ。

果樹は、先ずは植えることに始まる。 野菜と違い3年、5年、10年単位のお付き合いになる。

品種の選択。東京なら柑橘類が良い。 接ぎ木苗。 花粉樹。 雌雄両性株。 キウイフルーツも良い。

柿 柿は、実生より接ぎ木苗。 5年、10年先に後悔しない品種をしっかりと選ぶ。 よく日の当たるところに植えましょう。 水切れの無いように。 過湿にならないように気をつける。

## 区民農園 除草剤散布事件

「H氏」の犯行にはまいりましたヨ。 どのような訳で害されたかは、今だに理解できない。 区役所の、石神井警察の手ぬるい対処に呆れる。「事なかれ」と言う分けでしょう。 2024~26の延べ2年間。 参りました。

除草剤クリホサホードは、細胞内小器官を破壊する。

葉緑体、ミトコンドリア、ゴルジ体 … が死滅する。「葉」の白化・黄白化、霜に当たったように溶ける。 犬、猫、鼠、人…、突然死！ 「ミトコンドリア」が破壊されるので、手の施しようがない。 神経系の破壊。 痙攣、嘔吐。 記憶力の劣化。 老化促進。 …。

ベトナム戦争で使われた枯葉剤だ。 遺伝子プログラムの破壊。 全生命体が破壊される。 そんなものを平気で撒く。 恐ろしや！ 気が付いた時には、手遅れとなる。 そんな酷い除草剤が、100円ショップでも売られている。 近所のスーパー「オリンピック店」でも並んでいるヨ。 恐ろしや。 国(行政)も悪いナ。

ドック・ランで遊ばせた「太郎」は、未だ走りたがる。 で…、ドックランのヘンス隣の草地で鎖を放す。 翌日犬の様子がおかしい。 変だ。 吐く。痙攣する。 死ぬる。 手遅れだ。 失敗…。 別れが悲しい ムムム…。

除草剤が撒かれていた。

姪の建てた貸しアパートの庭に、草がはびこる。 除草剤の大箱を預かる。 『時々、撒いてくださいネ』。と…。 私は、撒きませんよ！ 草たちは有って良いのですから…。 植物たちが「土」を作ってきたのですから…。

### 野菜作りで、「般若心経」の理解が進む。

それにしても実に「般若心経」は、解らない。 分別心が理解を難しくする。「理解する」と言うことも誤りなのかもしれない。「ガーテイ、ガーテイ、ハーラーガーテイ…」。 合唱、合唱、合掌。

奈良のお寺で聞いた心経の合唱の「音」が忘れられない。「南無阿弥陀仏」「南無阿弥陀仏」「難妙法蓮華経」「難妙法蓮華経」。 合唱・合掌の響きが良い。「呪」なのである。

「般若心経」は、大自然の循環を教えていることは確かであろう。 世の中に不要のものは何も無い。 棄てるものはない。 考え方を見直せば、「色」も「空」も無い。 心を軟かにして、「無」にして、総てを受け入れる。 物事は「循環」するか。 しばらくは、「般若心経」を考えていく。 植物は＝生物は循環の中で生きている。

### 春の彼岸が近づく。 蒔き時だ。 植え時だ。

「タキイ種苗」「花倶楽部」の通販のカタログを読んでおりますとほしいものばかり。 我庭は日陰が濃くなり、少々伐採した。 少し明るくなった。

オキナグサ、タツナミソウ、ジュウニヒトエが「光」不足で消えてしまったので、仕入れようと思っています。「オザキフラワー」で探す。

石神井川近くの土手にも自生していたのですが、見かけなくなった。 氷川神社、寺の石垣の上の土手にも自生していた。 どんどん消えていく。しょうがないか。 草たちを食べる昆虫たちも消えているのでありましょう。しょうがないか。

「土筆」の原は、未だありますヨ。 千川緑道、手入れが良すぎる。 土着のシュンラン、スミレ、野バラ、木瓜…など、消えてしまったヨ。 棘のある木々は刈り取られる。 抜かれてしまう。

久しぶりにオザキフラワーセンターに行く (1/30)。

私はこのお店を「生ける凶鑑」と呼ぶ。 亜寒帯、温帯、暖帯、亜熱帯、熱帯の植物が並ぶ。 花物、葉物、野菜、水生植物、サバンナの植物。 多種多様。 季節の花が競う。 苗が並ぶ。 種子も色々置いてある。 それに、担当の方々が、良く勉強していらっしゃる。 知らないことがあると売り場責任者の方が直ぐに駆けつける。 少々お高い店であるが、詳しく聞けるところが良い。 この店に入ると、みんな買いたくなるのである。

キウイフルーツにしても。 大実の品種。 雌雄両性化のもの、赤い実のもの、黄色い実。 色々用意されている。 従来のエメラルドグリーンも中々良い。

それにビタミンC、血圧降下効果がある。 甘い。 トロピカルだ。 オザキで探す。 探せる店である。 1月の早春に、店内では花たちが咲き競う。 薫る。

オザキフラワーは、楽しいお店である。

### 区民農園から撤退 で、大き目のコンテナで野菜を作ろう。

初めての経験で、楽しみにしています。 サナ(網)を置いて、砕いた炭。 用土とダルマ堆肥(タキイ種苗)を使う。 玉肥中粒(生活クラブ生協)、「糠」。 腐れ板。 ボロボロの腐れ板、ボロボロの木屑。・・・これは、醗酵菌の「元菌」。 「菌」を植えるのです。 大き目のコンテナで「菌ちゃん農法」を試みる。 「水」は、延長したホースで撒こう。 何とかなるでしょう。

小松菜、大根、蕪、人参。 キャベツ、ブロッコリー、レタス。 とにかく蒔きましょう。

### オー・ワンダフル

ピンクの芝桜。近所に住むフランス人のご夫妻が、我が家の庭を覗く。白い芝桜も・・・そんなことも、あったっけ。 ダリアにカンナ。グラジオラス。 絵具で塗り付けたように庭に花が咲いていた。 その芝桜たちも、庭木が育って消えてしまったヨ。 ワンダフルでありました。 ダリア、カンナの球根は、花農家だった「野田」さんからも買いました。

今は、関一郵便局の北側は、静かな住宅街である。 外環道が地下に進む。 野田さん宅は、「善福寺ローンテニスコート場」に変わる。 広島銀行のマンションも建って長い。

パンジーは、種子から育てて植えました。 学校(杉並中瀬中)の花壇にも植えました。 パンジーで色付けをしました。 ワンダフルでありました。



1/28 石神井公園湧水井戸 冬景色



1/28 我が家の文旦、色づく 実生 12年

1月29日、今夜から小雪が舞うという。 長野、群馬を超えて、雪雲が来るという。 ミニ温室の温度を少し上げる。 20℃。バナナ、パパイヤは特に低温に弱い。 パパイヤは2度失敗。 バナナは、10数度。 懲りずにトライする。

パパイヤの方は、煮物、炒め物に使える。青パパイヤ。 完熟果を稔らせたことはない。 パパイヤの根を使った「根耕」。 熱帯植物の「根の活用」は、面白い。 このところやっている。 耕地の団粒化が期待できる。 T、